



群馬県総合教育センター 幼児教育センター

# ぐんま幼児教育センターだより

第48号 令和6年3月

「ぐんま幼児教育センターだより48号」をお届けします。

- 1 ページ：研修講座実施報告
- 2 ページ：夕やけ保育研修会、保育アドバイザーの実施報告
- 3 ページ：令和6年度の研修について
- 4 ページ：調査・研究事業の報告

## 今年度の研修を振り返って

令和5年度の研修が終了しました。今年度も多くの講座をオンラインで実施しましたが、無事全ての講座を行うことができました。受講者や所属園等、市町村教育委員会の皆様に機器の準備や研修場所の提供など、ご協力いただいたことを感謝申し上げます。

研修後のアンケートから、研修講座への肯定的な感想が多く大変うれしく思いました。来年度も今日的教育課題等、新たな視点を踏まえて、令和6年度の研修を企画していきますので、どうぞお楽しみに。今年度もありがとうございました。

## 令和5年度 研修講座 実施報告

講座コード	講座名	総日数	研修形態・日数
1010	幼稚園等新規採用教員研修	10日	集合研修：3日 オンライン研修：7日
1210	幼稚園等3年目経験者研修	2日	オンライン研修：2日
1410	幼稚園等5年経験者研修	3日	オンライン研修：3日
1610	幼稚園等中堅教諭資質向上研修	8日	集合研修：2日 オンライン研修：6日
2010	新任幼稚園等園長研修	2日	集合研修：2日
2050	新任幼稚園等副園長・教頭研修	1日	集合研修：1日
3290	幼児教育研修講座	1日	オンライン研修：1日

連絡先 群馬県総合教育センター 幼児教育センター

TEL : 0270-26-9203 FAX : 0270-26-9222

E-mail : youji@edu-g.gsn.ed.jp

# 令和5年度 夕やけ保育研修会 実施報告

今年度は、オンラインで6回の研修を行いました。参加者同士がテーマに沿って語り合う場を設けたり、講師の先生をお招きして講演会を行ったりと、様々な形態で研修会を実施することができました。6回の研修会で、のべ150名ほどの先生方に参加していただくことができました。今回は、10月以降に実施した研修会について受講者の感想を紹介します。

## 特別講演会

12/25 (月)  
佐々木 晃 氏  
『遊びはごちそう  
学びは栄養』  
～保育技術を科学する～

- ・「遊びが面白いと必ず学びがある」という言葉がとても印象的でした。遊びを充実できるような援助や環境の構成の工夫をしていけるかが、幼児の学びにつながると感じました。幼児の実態をしっかりと捉えたり、自身の思いをもったりしながら、遊びが充実し学びが深まるように努めていきたいと思います。貴重なお話をありがとうございました。
- ・「遊びはごちそう、学びは栄養」の講義を聞きながら、その言葉が心に馴染みました。日々の幼稚園生活の中で、非認知能力が備わっていくことを学びました。

## 発達の理解

11/15 (火)  
宇部 弘子 氏  
『子供の育ちを  
支えるために』

- ・話し方のテクニックについての講義では、日ごろの自分の保育の中での自分自身を振り返りながら、講義を聞かせていただきました。自分の話や言葉掛けが抽象的になっていなかったか、考えなおす良い機会となりました。具体的で簡潔な言葉掛けを心掛け、早速、明日からの保育に生かしていきたいと思いました。
- ・特性のある子供の具体的な特徴を理解できました。育児不安や虐待などが多く見られる現在、子供たちのみならず、保護者の状況や思いに寄り添いながら、サポートする事が大切であると思います。

## くつちやべり亭

10/25 (月)  
テーマ：みんなで語  
ろう (環境の構成)

- ・各園の環境の構成への配慮について話を聞き、改めて自園の取組の良いところや見直すところを考える時間となりました。園にリサイクルコーナーを設けることや、秋の自然物を使った環境設定等、今後に活かしていきたいと思いました。
- ・動画に出てきた三人の笑顔が素敵でした。その笑顔を見るためには、やはり「時間・空間・仲間」の「三間」を保障することが大切だと思います。その中で、遊び込める「時間」の保障が今は難しいのかなと感じました。散歩に行って「秋の自然」を集めて・・・そこで終わってしまっているのかもしれませんが、のびのびと遊び込んだ後に、何か大切な気づきや工夫、発見が待っているのではないかなと思います。

# 令和5年度 保育アドバイザー派遣 実施報告

幼児教育センターでは、幼児期の教育や家庭教育の充実を目指し、保育所、認定こども園、幼稚園、学校、公民館等で行う講演会や研修会、保護者会に、保育や教育の専門家である「保育アドバイザー」を講師として派遣しています。今年度受講された方からの感想を掲載します。

- ・小学校学習指導要領等における幼保小連携の必要性について、今までの改定や変革を踏まえて大変分かりやすく丁寧に講義していただきました。特に、非認知能力育成の重要性については、大切だと分かってはいても「具体的にはどんなこと？」という思いをもつ教職員が多い中、小学校の教諭にも分かりやすい説明がありました。今後は非認知能力の育成を通して、幼保小の連携を深めていくことが子供の健やかな育成に重要であることを改めて感じました。

(テーマ：「接続期に考えよう 子供の育ちをつなぐ幼保小連携」)

- ・本園の実態や課題をすぐに理解してくださり、保育参観の中で一人一人の保育者や子供たちに温かい眼差しを向けて応援してくださいました。先生の講話を通して、先生方も自分の保育を振り返り反省したり、悩み事を相談したりする中で、すぐに的確なアドバイスをいただけて実りある良い研修となりました。

(テーマ：「子供を理解するということ」)

- ・幼児教育の中で、園児が育つために必要な3つのことを問うことから講話がはじまりました。3つのこととは「眠ること」「食べること」「遊ぶこと」で、幼児期の子どもの成長にとって、特にこの3つをしっかり取り組むことが大切であることを先生のお話から改めて実感しました。

(テーマ：「幼児期の学び合い・生活習慣の確立について」)

# 令和6年度の研修について

## <研修講座>

令和6年度は、現在以下のような予定です。（今後、変更の可能性もあります。）  
詳しくは、群馬県総合教育センターWebページに3月中旬に掲載予定の「令和6年度研修講座案内」をご覧ください。

講座コード	講座名	総日数	研修形態・日数	備考
1010	幼稚園等新規採用教員研修	9日	集合研修：3日 オンライン研修：6日	
1210	幼稚園等3年目経験者研修	2日	集合研修：1日 オンライン研修：1日	
1410	幼稚園等5年経験者研修	2日	オンライン研修：2日	
1610	幼稚園等中堅教諭資質向上研修	9日	集合研修：3日 オンライン研修：5日 選択型研修：1日	選択型は該当する講義を選択
2010	新任幼稚園等園長研修	2日	集合研修：2日	2日目は午後のみ
2050	新任幼稚園等副園長・教頭研修	1日	集合研修：1日	
3290	幼児教育と小学校をつなぐ研修講座	1日	集合研修：1日	午後のみ

「幼児教育と小学校をつなぐ研修講座」は、以下のテーマで行う予定です。

**テーマ：幼保こ小 架け橋期の学びのつながりを考える**

## <夕やけ保育研修会>

令和6年度も、オンライン研修を企画しております。詳しくは、次号でお知らせいたします。お楽しみに！

令和6年度の夕やけ保育研修会も、講師を招聘しての、日常の保育で実践できる講義や、参加者の皆さんが、気軽に語り合えることができる研修会を企画中です！  
保育に関して「他園の様子や情報を知りたい」や「今のトレンドはどうなの？」「悩みを聞いてほしい」など、みなさんとお会いできることを楽しみにお待ちしております♪





# 保育におけるICT活用の現状と課題

～ICTを楽しく手軽に！園における活用アイデア～

群馬県総合教育センター幼児教育センター

情報化社会の進展に伴い、保育現場においてもICT活用への注目が高まっています。しかし、導入にあたってのインフラ整備や職員のICTへの苦手意識などから、なかなか導入・活用が進まない現状もあるようです。そこで今回は、手軽にできるICT活用事例について紹介します。

## ○タブレットのカメラ機能の活用

先日ある園を訪問した際、園児がみんなで長縄跳びをしていました。上手に跳べている4歳児の跳び方をタブレットで撮影したところ、いっしょに遊んでいた3歳児が集まって見始めました。そのあと、何度も長縄跳びに挑戦し、少しずつ跳べるようになっていきました。



【お兄さんの跳び方を真剣に見て】



【自分自身もチャレンジ！】

## ○デジタルフォトフレームの活用

今年度、保育アドバイザー派遣事業で県内の園に指導主事が訪問し、ICTの活用について研修を実施しました。その中で、デジタルフォトフレームの活用について紹介してきました。

タブレットやカメラで撮影した画像を、そのままデジタルフォトフレームに転送し、保護者や園児の目に触れる場所に置いておくだけで、その日の保育の様子を自由に見ることができるコーナーができます。



## ○マイクروسコープの活用

虫の体のつくりや植物の表面などを、マイクروسコープを使って観察してみるのも面白そうです。

先日訪問した園では、泥団子づくりに夢中になる5歳児の姿がありました。そこで、「ちょっと表面がどうなっているのか見せてくれる？」とお願いし、マイクروسコープの映像をみんなで見てみました。子どもたちはみんなの泥団子の表面を見比べて、粒の大きさや滑らかさの違いに気付いたり、葉っぱやコンクリート、タイヤの表面の様子などにも興味を示していました。



【泥団子の表面を観察】



【葉っぱはどうなってる?】



【集まっているいろいろなものを観察】

今回使ったマイクروسコープは5000円くらいで購入できる、比較的安価なものですが、タブレットと接続して撮影したものを映せるので、子どもたちもすぐに操作に慣れ、たくさんものを見ようとしていました。映した映像は静止画や動画で保存できるので、繰り返し見返すこともできます。

## ○タイムラプス撮影機能の活用

最近のタブレットPCや家庭用ビデオカメラには、タイムラプス撮影の機能が付いているものがあります。

植物の開花の様子やチョウの羽化の様子、影の位置や長さなど、時間をかけて徐々に変化するものを撮影してみたら面白い映像が撮れるかもしれません。



ビデオカメラを三脚で固定し、撮影開始！

カメラが自動で5秒ごとに写真を撮影してくれます。



1時間経過したところです。だんだん開いてきました。定点撮影なので、撮影者は別のことをしていても問題ありません。



2時間ですっかり花が開きました。タイムラプスなら、2時間分の変化を約1分で観察することができます。

【マツバギクの開花の様子(約2時間分)】

## エピソード「ポケモンショーの始まり」

先日、ある園で保育の様子を参観したときのこと。子どもたちが何人かで集まって、ポケモンごっこをして遊んでいました。戦いがだんだんヒートアップしてきてしまい、(このままだと、けんかになっちゃうのかな…)と心配になりかけたそのとき、先生がタブレットPCを持って登場しました。

子どもたちはカメラを向けられていることに気付き、急に役者さんモードに！そこからはポケモンショーの撮影会が始まり、いつの間にか撮影する係の子、主役のポケモンの子、敵役のポケモンの子、観客の子など、いろいろな役割に分かれて遊びが始まりました。

けんかになりそうな雰囲気を察知してカメラを向けた先生もさすがでしたが、カメラをちょっと向けてみるだけで、子どもたちの意識が転換することに気付かされた一幕でした。

近年、急激にICTの活用に注目が集まっています。園ではこれまでも、園内研修において写真や動画を活用したドキュメンテーションを取り入れていたり、保護者に日々の子どもの様子を伝えるために写真を掲示したりするなど、様々な工夫がされてきています。

今回の幼児教育センターだよりでは、特に幼児が見たり、使ったりすることに視点を当てたICTの活用について紹介しました。今の子どもたちはデジタルネイティブ世代であり、タブレットやスマートフォンが非常に身近な環境に生きています。だからこそ、園では直接的な体験を大切にしつつ、その中に子どもたちの好奇心や気付きを促すためのICTの活用が求められているのではないのでしょうか。今回紹介した事例が、先生方の参考になれば幸いです。